

授業科目 人間工学概論

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	義肢
大 鍋 寿 一、福 田 弘 和 他		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 本科目では、義肢装具および福祉用具に役立つまざまな工学の知識について学ぶ。 専門用語についての英語を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 計測の意味と注意点について説明できる。 2. 基礎的な電子部品の機能について説明できる。 3. 制御の意味と仕組みについて説明できる。 4. 流体工学の基礎と流体を用いた部品について説明できる。 5. システム工学の基礎について説明できる。 6. 人間工学の基礎について説明できる。 7. 専門用語について英語で表現できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	計測とは			1, 7	講義（福田）
2	電子部品の働き			2, 7	講義（福田）
3	センサーのいろいろ			2, 7	講義（福田）
4	自動制御の仕組み 1			3, 7	講義（福田）
5	自動制御の仕組み 2			3, 7	講義（福田）
6	流体工学の基礎 1			4, 7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
7	流体工学の基礎 2			4, 7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
8	システム工学の基礎 1			5, 7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
9	システム工学の基礎 2			5, 7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
10	システム工学の基礎 3			5, 7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
11	システム工学の基礎 4			5, 7	講義と質疑応答、演習（ ）
12	人間工学の基礎 1			6, 7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
13	人間工学の基礎 2			6, 7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
14	人間工学の基礎 3			6, 7	講義と質疑応答、演習（ ）
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		なし			
参考書					
その他の資料		單元ごとに必要な資料を配付する			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
臨時試験：40% 達成度確認試験：40%、学習態度：20%			課題発見能力と問題解決能力を養成するので、積極的に質疑応答に参加すること		